

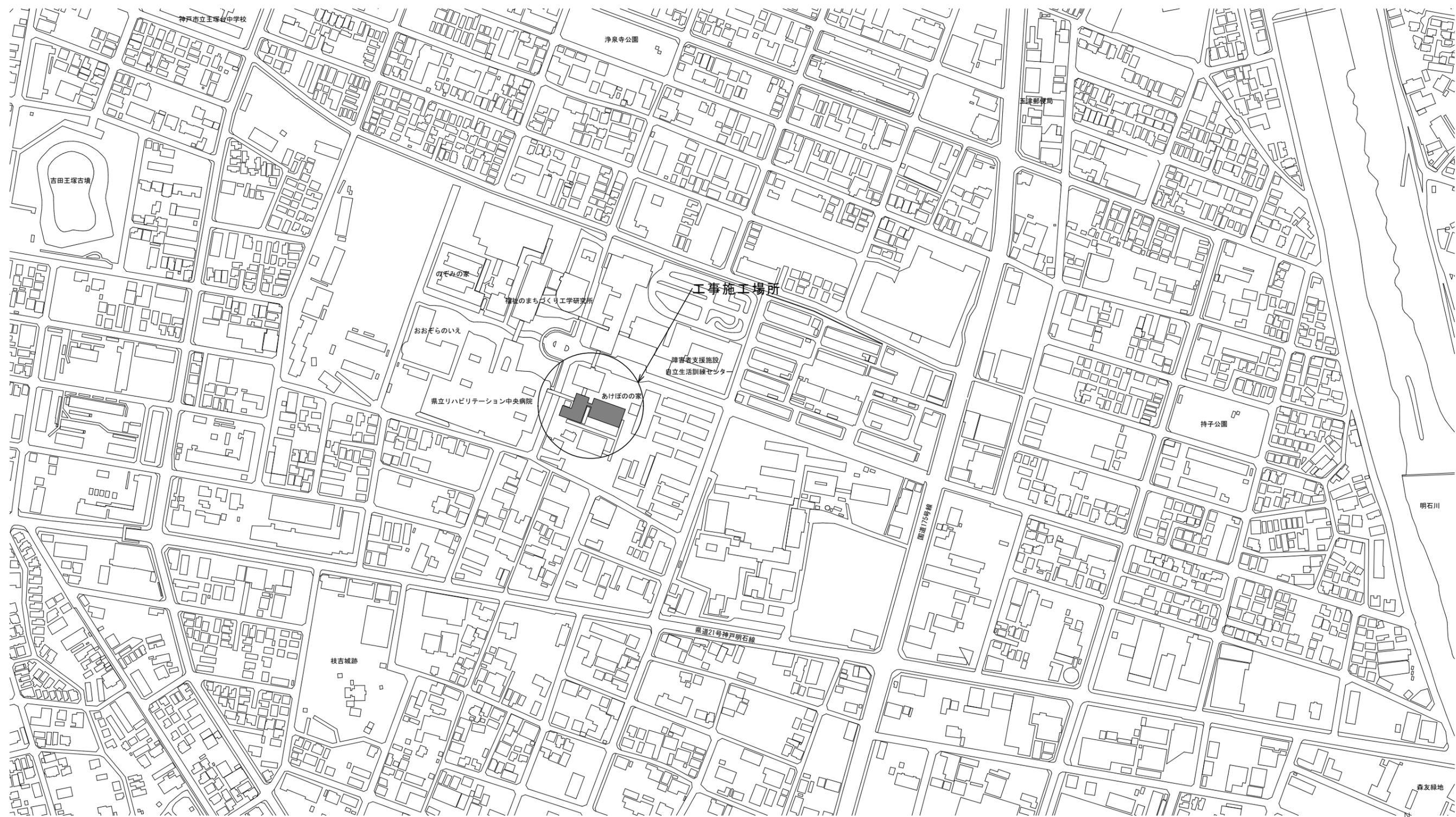
県立総合リハビリテーションセンター

あけぼのの家空調改修工事

図面リスト							
No.	建築工事設計図	No.		No.	電気設備工事図面	No.	機械設備工事図面
A-01	目次			E-01	電気設備工事特記仕様書	M-01	特記仕様書（機械設備工事）
A-02	特記仕様書（1）			E-02	室内ユニット電源設備1階平面図	M-02	空調機器表
A-03	特記仕様書（2）			E-03	GHP空調機電源設備1階平面図	M-03	1階改修平面図
A-04	附近見取図					M-04	あけぼの空調改修平面図
A-05	配置図					M-05	1階室外機廻り配管平面図
A-06	改修前1階平面図					M-06	1階撤去平面図
A-07	1階平面図					M-07	あけぼの空調撤去平面図
A-08	2階平面図						
A-09	3階平面図						
A-10	1階天井伏図						
A-11	雑詳細図（別途工事参考図）						

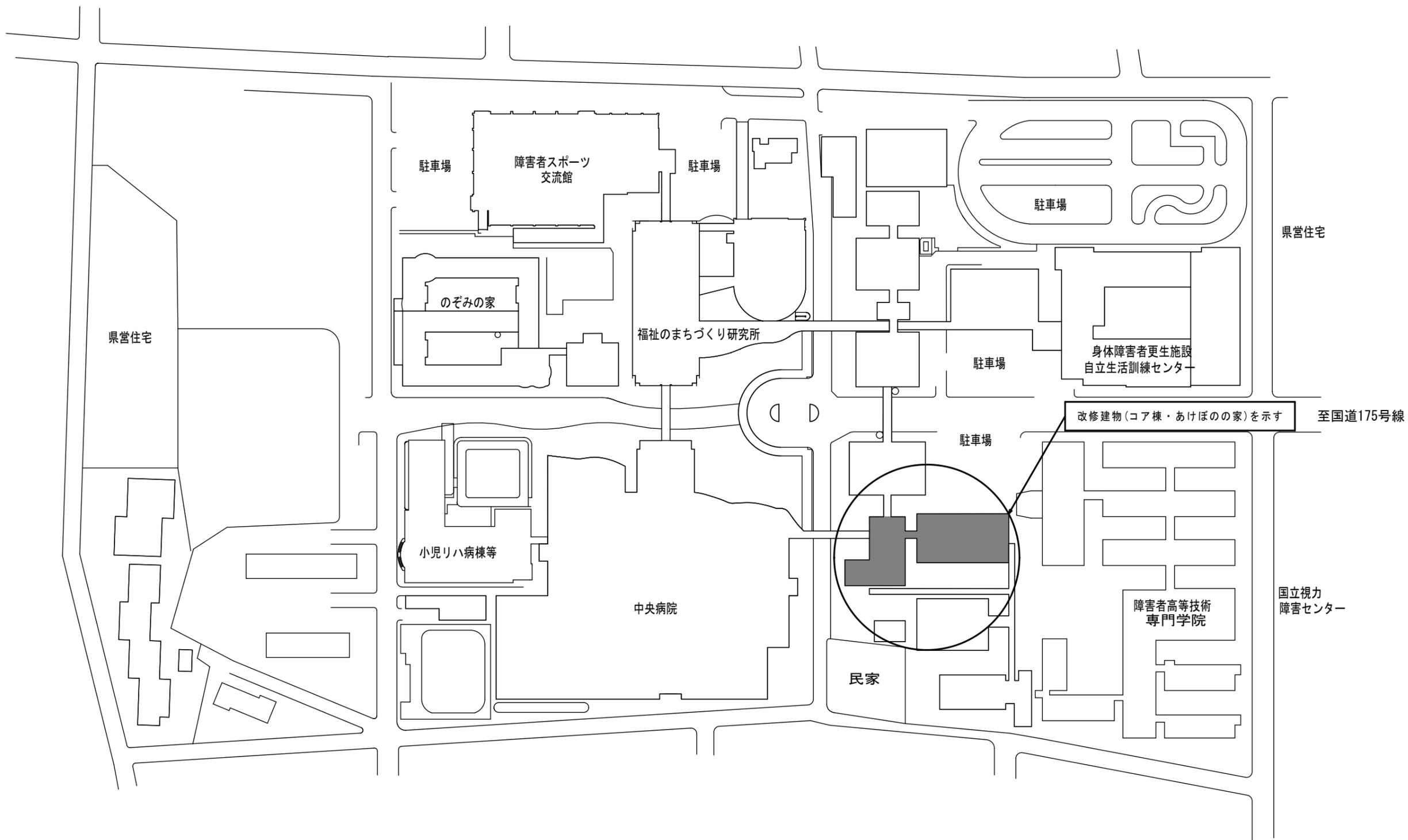
特記事項	設計	設計年月日 6年11月 日	訂正年月日 年 月 日	名称 県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. A 01
	AS 嶋本一級建築士事務所	一級建築士 嶋本 浩史	検 図		
		一級建築士 大臣登録 第243356号			

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
5	ステンレス製建具 標仕5.6.1 ～標仕5.6.5	■材 料 ステンレス鋼板 (■ S U S 3 0 4 ■ その他 (S U S)) ■既存建具の改修 ■詳細は図面特記による ■表面仕上げ ■ヘアライン ■鏡面 ■ ■曲げ加工 ■普通曲げ ■角出し ■マスターキー ■要 ■不要 (※コンストラクションキー対応については監督職員と協議する。) ■種 類 ■一般重量シャッター ■外壁用防火シャッター ■屋内用防火シャッター ■防煙シャッター ■耐風圧性能 ■一般重量シャッター ■外壁用防火シャッター 風圧力 () N/m ² ■開閉形式 ■上部電動式 (手動併用) ■上部手動式 ■耐風圧性能 ■風圧力 () N/m ² ■ガラス留め材 ■シーリング材 () ■建築用ガasket (J I S A 5 7 5 6)	6	畳敷き 標仕6.12.2	種別 (■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種 () ■ 柔道用) ■合板類の張付け工法 ■ A種 ■ B種 ◎石膏ボードの継ぎ目処理工法 ◎突付け工法 ■目透し工法 ■縦目処理工法 ■遮音シール材 ■要 ■不要 ■防虫処理 ■難燃処理 ■防災処理	8	コンクリートの材料 標仕8.2.5	■セメントの種類 ■普通ポルトランドセメント ■早強ポルトランドセメント ■高炉セメント (B種) ■シリカセメント ■フライアッシュセメント ■18 N/mm ² ■21N/mm ² ■24 N/mm ² ■27 N/mm ² ■30 N/mm ² ■33 N/mm ² ■36 N/mm ² 軽量コンクリート (N/mm ² : 27N/mm ² 以下) ■高性能A E減水剤 ■A E減水剤 ■A E剤 ◎各試験実施機関は兵庫県コンクリート工法に関する指導要綱第8による試験実施機関とする。 ◎適用箇所 (図面特記) ■種類 ■1種 ■2種 ■所要乾単位容積質量 (t/m ³) ■接着系アンカー ■有機系 ■無機系 ◎引張耐力 (構造図特記) ◎有効埋込深さ (構造図特記) ■金属拡張系アンカー 引張耐力 () N/mm ² 有効埋込深さ () d以上 ■JCAAの資格者 (あと施工アンカー技術管理士又はあと施工アンカー主任技師) ■上記と同等の知識及び経験を持った者 ◎埋込み配管等の探査方法 (鉄筋探査器により確認) ■JCAAの資格者 (第1種あと施工アンカー施工士) ■左記と同等の知識及び経験を持った者 ■全数打音試験 ■引張試験 (確認試験荷重: 引張耐力×2/3) ■工事現場における鉄骨製作工場の表示 (■ J'グレート' ■ P'グレート' ■ M'グレート' ■ H'グレート' ■ S'グレート') ■適用する (級) ■規格品 ■適合品 ■SN (A , B , C) ■SM () ■SS () ■STK () ■STKR () ■SSC () ■トルシヤ形高力ボルト2種 (S10T) 認定品 ■JIS形高力ボルト2種 (F10T) ■溶融亜鉛メッキ高力ボルト1種 (F8相当) 認定品 ■要 ■不要 ◎鉄骨標準図に図示 ◎超音波探傷試験 ■その他 () ■耐火材吹き付け (■乾式 ■半乾式 ■湿式) ■耐火板張り (■直張り ■箱張り化粧下地) ■耐火材巻き付け ■ラス張りモルタル塗り ■その他
	建具用金物 標仕5.7.1 ～5.7.4 重量シャッター 標仕5.10.1 ～5.10.5 軽量シャッター 標仕5.11.1 ～5.11.5 ガラス 標仕5.13.1 ～5.13.2	■下地モルタル ■撤去の有無 (■有 ■無) ■浮き・欠損部の撤去 (■要 ■不要) ■合成樹脂塗床材の除去工法 ■機械的除去工法 ■目荒らし工法 ◎改修後の床の清掃範囲 () ■間仕切壁撤去後に伴う構造体の補修 ■モルタル塗り (標仕4.4.9)による ■その他 () ◎天井撤去の方法 ■全面撤去 (仕上げ材・下地材・軽量鉄骨下地) ◎部分撤去 (◎仕上げ材 ■下地材 (■軽量鉄骨下地))		壁紙張り 標仕6.14.1 ～6.14.3 モルタル塗り 標仕6.15.1 ～6.15.7 タイル張り 標仕6.16.1 ～6.16.5 セルフレベリング材 標仕6.17.1 ～6.16.5	下地調整 標仕7.2.1 ～7.2.7 各種塗料塗り 標仕7.4.1 ～		アスベスト処理工事 標仕9.1.1 ～9.1.3 断熱アスファルト防水 改修工事 外断熱改修工事 断熱・防露改修工事 標仕9.3.1 ～9.3.4 標仕9.5.1 ～9.5.3 屋上緑化改修工事 標仕9.6.1 ～9.6.4 透水性アスファルト 舗装改修工事 標仕9.7.1 ～9.7.9 路盤 標仕9.8.1 ～9.8.3 透水性アスファルト舗装	
6	既存床の撤去 並びに下地補修 標仕6.2.1 ～6.2.2 標仕6.2.2(a)(1) 標仕6.2.2(a)(2) 標仕6.2.2(a)(2) 標仕6.2.2(c) 既存壁の撤去 並びに下地補修 標仕6.3.1 ～6.3.2 既存天井の撤去 並びに下地補修 標仕6.4.1 ～6.4.2 木下地等 表面仕上げ 標仕6.5.1	■既存床の撤去 (■有 ■無) ■下地モルタル ■撤去の有無 (■有 ■無) ■浮き・欠損部の撤去 (■要 ■不要) ■合成樹脂塗床材の除去工法 ■機械的除去工法 ■目荒らし工法 ◎改修後の床の清掃範囲 () ■間仕切壁撤去後に伴う構造体の補修 ■モルタル塗り (標仕4.4.9)による ■その他 () ◎天井撤去の方法 ■全面撤去 (仕上げ材・下地材・軽量鉄骨下地) ◎部分撤去 (◎仕上げ材 ■下地材 (■軽量鉄骨下地))	木材の含水率 標仕6.5.2(a)(2) 造作材の等級品質 代用樹種 標仕6.5.3 標仕6.5.4 造作用集材等 床張り用合板等 標仕6.5.2(c) 標仕6.5.2(a) 特殊造作材 防露・防蟻処理 標仕6.5.5 鉄筋コンクリート造 等の内部間仕切り 及び床組 標仕6.5.6 標仕6.5.9 軽量鉄骨天井下地 標仕6.6.1 ～6.6.4 軽量鉄骨壁下地 標仕6.7.1 ～6.7.4 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイル張り 標仕6.8.1 ～標仕6.8.4 標仕6.8.3(b)(3)	7 塗装改修工事	9 環境配慮改修工事			
	木材の含水率 標仕6.5.2(a)(2) 造作材の等級品質 代用樹種 標仕6.5.3 標仕6.5.4 造作用集材等 床張り用合板等 標仕6.5.2(c) 標仕6.5.2(a) 特殊造作材 防露・防蟻処理 標仕6.5.5 鉄筋コンクリート造 等の内部間仕切り 及び床組 標仕6.5.6 標仕6.5.9 軽量鉄骨天井下地 標仕6.6.1 ～6.6.4 軽量鉄骨壁下地 標仕6.7.1 ～6.7.4 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイル張り 標仕6.8.1 ～標仕6.8.4 標仕6.8.3(b)(3) カーペット敷き 標仕6.9.1 ～6.9.4 合成樹脂塗床 標仕6.10.1 ～6.10.4 フローリング張り 標仕6.11.1 ～6.11.3	■造作材 (■ A種 ■ B種) ■下地材 (■ A種 ■ B種) ■ A種 ■ B種 ■禁止する ■ 標仕表6.5.4による ■造作用集材 (JAS規格品) ■樹種 () ■樹種 使用所 () ◎木材の防露・防蟻処理はカビ・リキ等を含有しない非有機系の薬剤とし、 加圧式防露・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場へ搬入する。 ■間仕切り軸組材 (■杉 ■その他) ■床組 (■杉 ■松 ■その他) ■土間スラブの場合の土台、転ばし大引き、転ばし根太 (■松 ■保存処理木材 ■その他) ■壁及び天井下地 () ■下地材の樹種 (■杉 ■松 ■その他) ◎材 料 ◎天井: 野縁の種類 (◎19形 ■25形) ◎形状及び寸法 ◎野縁の間隔 (■360程度 ◎300程度 ■225程度) ■形状及び寸法 ■壁・スタッドの種類 (■50形 ■65形 ■90形 ◎100形) ■接着剤の種類と使用箇所 ■ビニル床シート及びビニル床タイルの接着剤 詳細は図面特記による ■ゴム床タイル用接着剤 詳細は図面特記による ■工 法 ■ビニル床シートの熱溶接工法の適用 (■要 ■不要) ■織りじゅうたん (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■カーペット (■ A'の形状 () ■ B'の長さ (mm)) ■工法 (■ グリッパ'ー工法 ■ 全面接着工法) ■ゴッド'パ'ット (厚さ mm) ■タコ'パ'ット種類 () 総厚さ (mm) ■ A'の形状 () 寸法 (mm) ■カーペット下敷き材 () ■厚さ (mm) ■弾性カウチン床 ■平滑仕上げ ■防汚仕上げ ■つや消し仕上げ ■漆'樹脂塗床 ■薄膜流し履べ工法 ■平滑仕上げ ■防汚仕上げ ■厚膜流し履べ工法 ■平滑仕上げ ■防汚仕上げ ■樹脂砂'工法 ■平滑仕上げ ■防汚仕上げ ■薄膜型塗床工法 ■平滑仕上げ ■単層フローリング (■ フローリング'グ'ード' ■ フローリング'ブ'ロック' ■ ゴ'イ'パ'ット) ■複合フローリング (■ 複合1種 ■ 複合2種 ■ 複合3種) ■樹種 (ナラ) ■板厚 (15 mm) ■塗装 () ■釘留め工法 (■ 根太張り工法 ■ 直張り工法) ■湿式工法 (ゴ'イ'パ'ット工法) ■接着工法 ■特殊張り工法 (体育館床工事標準施工要領書: 日本フローリング'工業会)	■鉄筋材料 ◎ J I S G 3 1 1 2 ■ S R 2 3 5 ■ S R 2 9 5 ■ S D 2 9 5 A ■ S D 2 9 5 B ■ S D 3 4 5 ■ S D 3 9 0 ■材 料 ◎ J I S G 3 5 5 1 ■径 () φ ■網目の寸法 () ■網目の形状 () ■継手の方法 ■重ね継手 ■柱・梁の主筋、耐力壁の鉄筋の重ね継手長さ: 標仕表8.3.2から40d ■構造図特記 ■ガス圧接継手 (種類 径 mm以上) ■機械式継手 (種類 径 mm以上) ■溶接継手 (種類 径 mm以下) ■柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ ■上記以外の鉄筋の定着長さ: ■ 標仕表8.3.4適用 ■構造図特記 ◎圧接作業における技能資格者は、工事に相応した J I S Z 3 8 8 1 による技量を有するものとし ガス圧接技能資格者証を提示すること。 ◎圧接完了後の試験 試験方法 ■超音波探傷試験 (圧接箇所全数) ■引張試験 (公共建築工事標準仕様書 5.4.9(2)(H)による) ◎コンクリート製造工場の選定にあたって、全国品質管理監査会議の策定した統一基準に基づく監査に合格した 工場とする。それ以外を選定する場合は受注者による臨場、確認等 (製造関係: ①品質に携わる技術者の 資格の確認 (常駐の確認)、②品質管理責任者の配置の確認、③コンクリートの圧縮強度の管理体制の確認、 ④配合への臨場 (試験練時)、⑤単位水量にかかる日常管理に関する事項の確認、施工関係: ⑥有資格者等 の臨場、⑦打設状況報告書の作成等) にかかる事項を監督職員は確認する。	■除去工法 ■封じ込め工法 ■除去したアスベスト含有付材等の飛散防止 ■湿潤化 ■固形化 ◎ 施工計画書を作成のうえ監督員の承諾を受けること。 ◎ 改修工法の種類 (図面特記) ■打込み工法 ■ ビーズ法ポリスチレンフォーム ■ 押し出し法ポリスチレンフォーム ■ 硬質ウレタンフォーム ■ フェノールフォーム ■ ロックウール ■ グラスウール ■ セルローズファイバー ■現場発泡工法 ■断熱材の種類 ■ A種1 ■ A種2 ■ A種3 ■ B種1 ■ B種2 ■厚さ () mm ◎ 適用範囲～工法は図面特記による ■ 枯補償期間 (建物引渡日の翌日から1年間)				
特記事項	設計		設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No.	
	6年11月 日		年 月 日	図名	特記仕様書(2)	A		
	一級建築士 嶋本 浩史		検	縮尺	non	03		
	一級建築士 大臣 登録 第243356号		図			整理番号		



附近見取図 1/2500

特記事項 工事施工場所：神戸市西区曙町1070（あけぼのの家）	設計	設計年月日	訂正年月日	名称 県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. A 04
		6年11月 日	年 月 日		
	AS 嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号	検 図	縮尺 1/2500	図名 附近見取図	整理番号



特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター	No.
		6年11月 日	年 月 日		あけぼのの家空調改修工事設計図	
	 嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号	検	図	図名	配置図	05
					縮尺	1/1000



解体駐輪場立面図 1/200

改修前1階平面図 1/200

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. A 06
		6年11月 日	年 月 日	図名	改修前1階平面図	
	嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号			縮尺	1/200	整理番号



評価作業棟

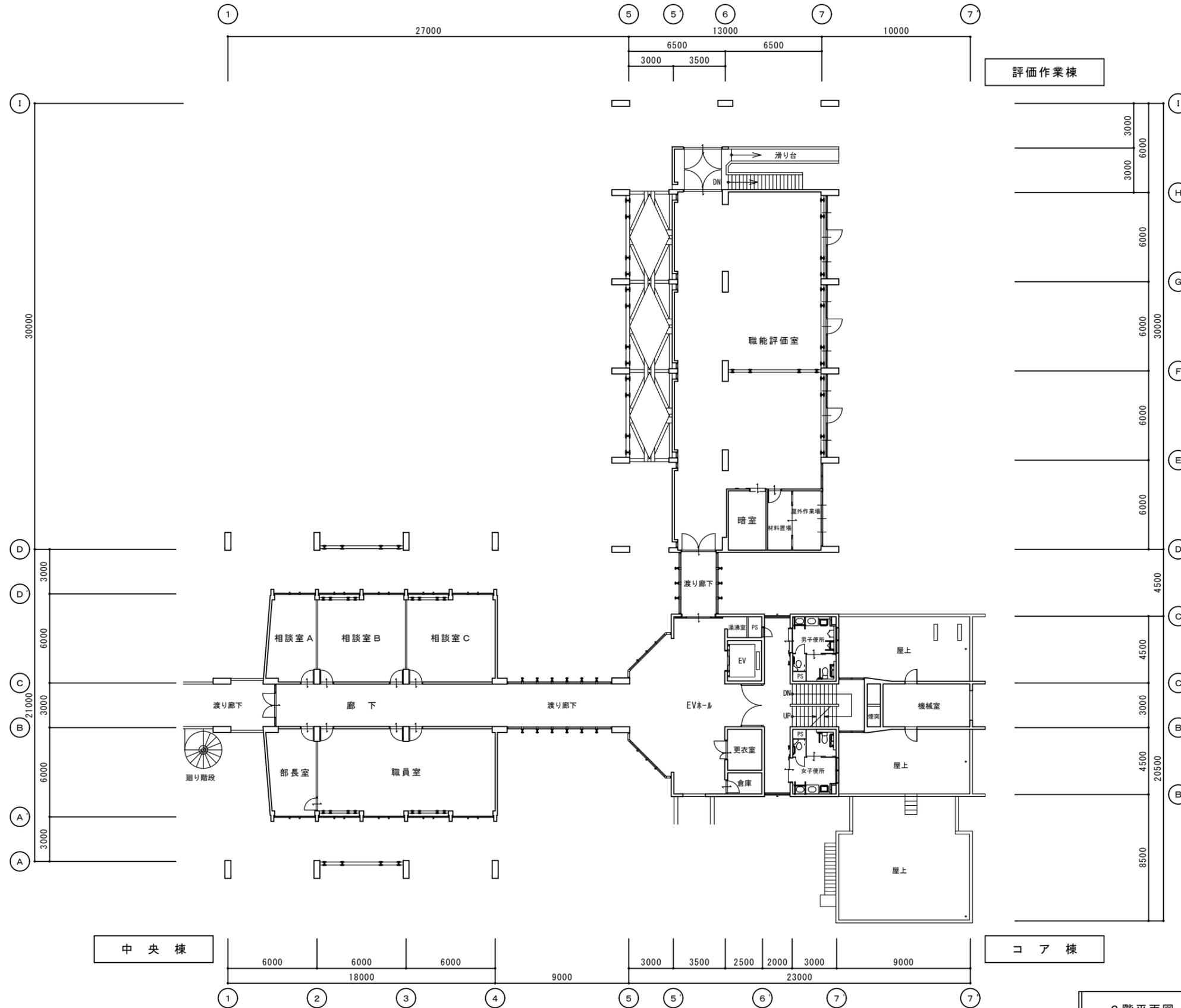
中央棟

コア棟

改修範囲を示す

1階平面図 1/200

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. A
		6年11月 日	年 月 日	図名		
	AS 嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号			縮尺	1/200	整理番号



2階平面図 1/200

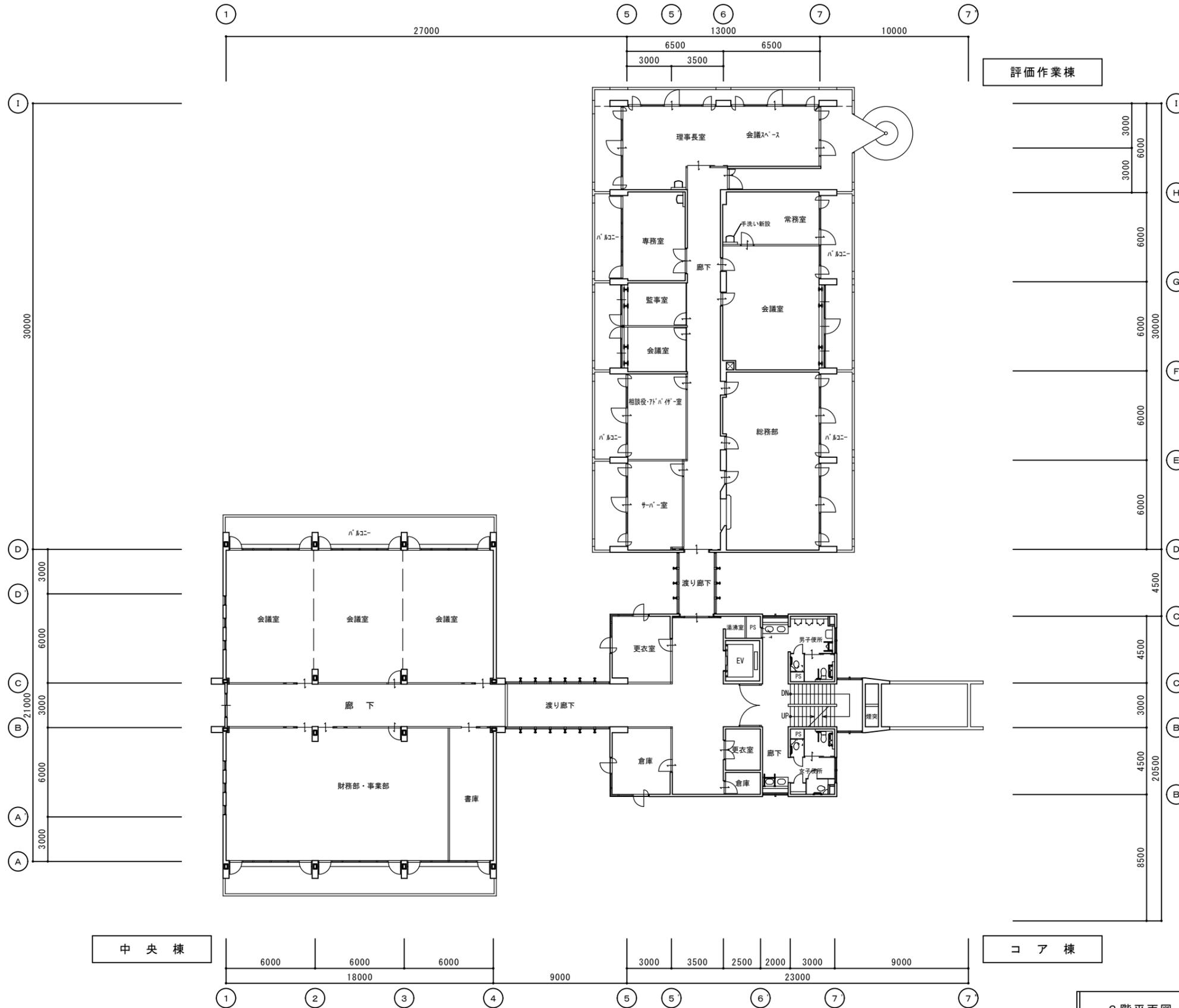
特記事項	設計

設計年月日	訂正年月日
6年11月 日	年 月 日
設計者	検図
一級建築士 嶋本 浩史	
一級建築士 大臣登録 第243356号	

名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図
図名	2階平面図
縮尺	1/200

No.	A
	08
整理番号	

AS 嶋本一級建築士事務所

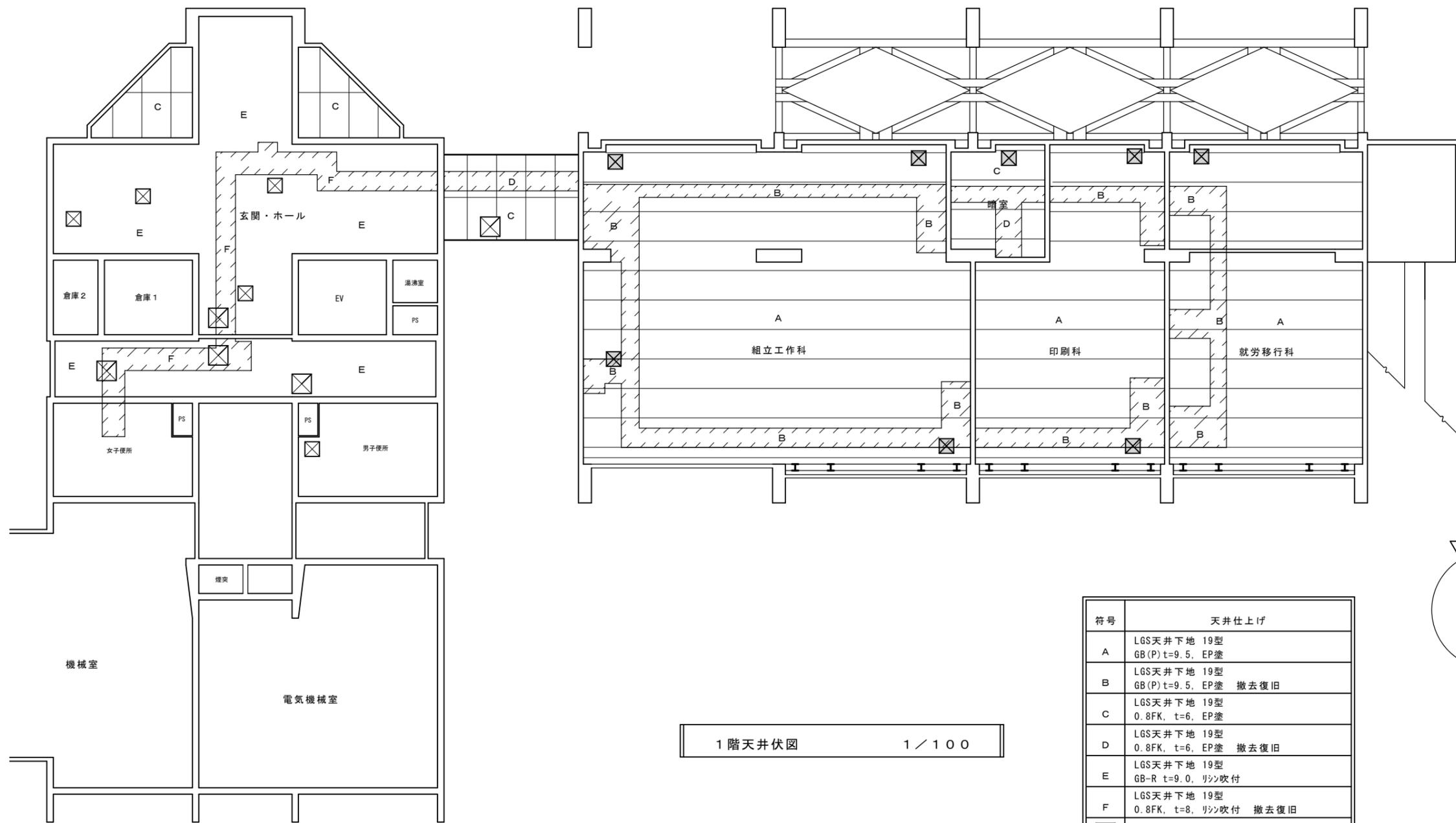


3階平面図 1/200

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日
		6年11月 日	年 月 日

嶋本一級建築士事務所
 一級建築士 嶋本 浩史
 一級建築士 大臣登録 第243356号

名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No.	A
図名	3階平面図		09
縮尺	1/200	整理番号	



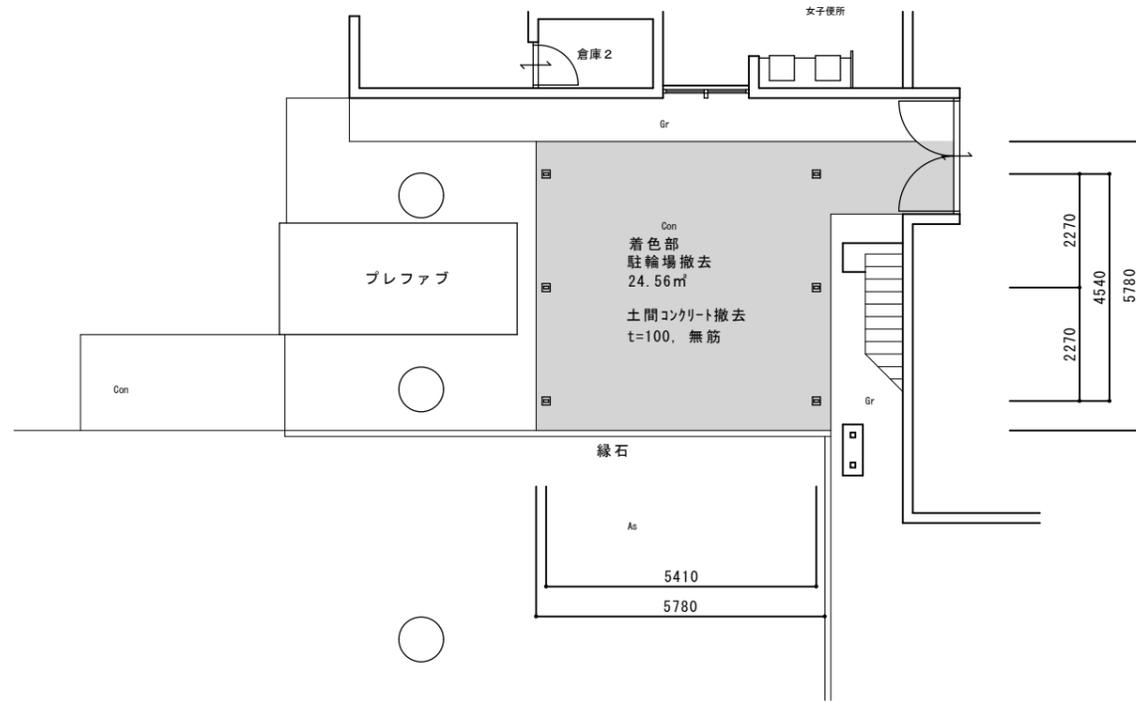
1階天井伏図 1/100

符号	天井仕上げ
A	LGS天井下地 19型 GB(P) t=9.5, EP塗
B	LGS天井下地 19型 GB(P) t=9.5, EP塗 撤去復旧
C	LGS天井下地 19型 0.8FK, t=6, EP塗
D	LGS天井下地 19型 0.8FK, t=6, EP塗 撤去復旧
E	LGS天井下地 19型 GB-R t=9.0, リン吹付
F	LGS天井下地 19型 0.8FK, t=8, リン吹付 撤去復旧
☒	既設7㍉製点検口 600x600
☒	既設7㍉製点検口 450x450
☒	新設7㍉製点検口 450x450
	天井仕上材撤去復旧部を示す 現地調査の上必用最低限の撤去とする

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. A 10 整理番号
		6年11月 日	年 月 日	図名	1階天井伏図	
	嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号			縮尺	1/100	

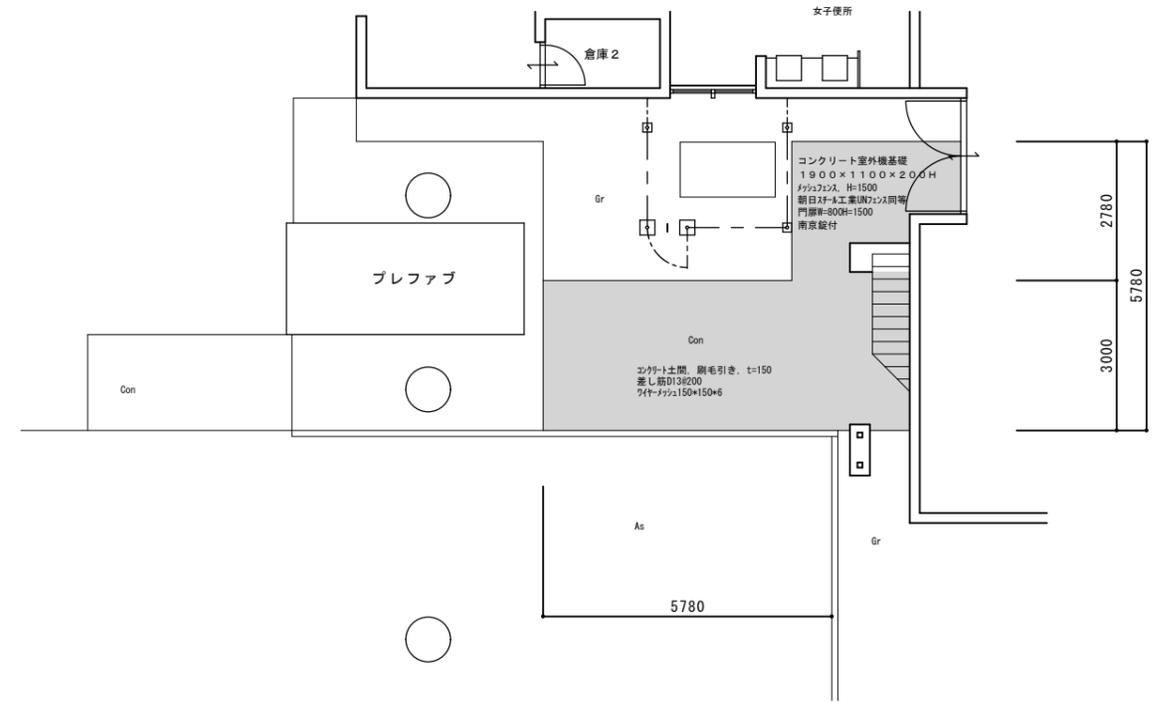
改修前室外機基礎廻り平面図

1/100



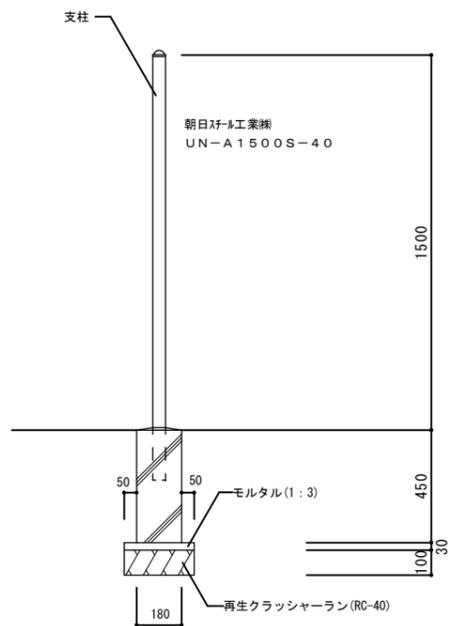
改修後室外機基礎廻り平面図

1/100



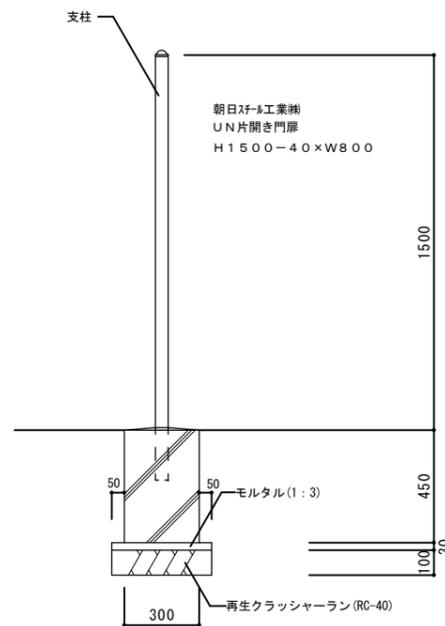
フェンス基礎構造図

1/20



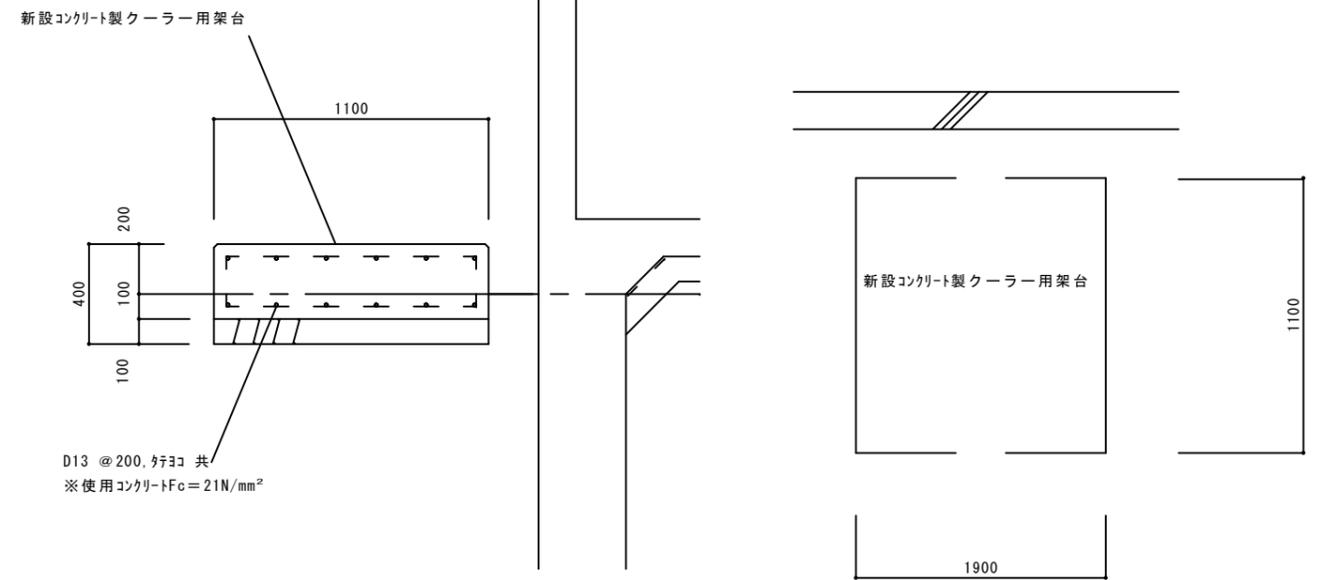
フェンス門扉基礎構造図

1/20



室外機基礎構造図

1/20



特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日
		6年11月 日	年 月 日
	一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号		

AS 嶋本一級建築士事務所

名称	県立総合リハビリテーションセンター	No. A
図名	あけぼのの家空調改修工事設計図 雑詳細図(別途工事参考図)	
縮尺	1/20, 1/100	11
		整理番号

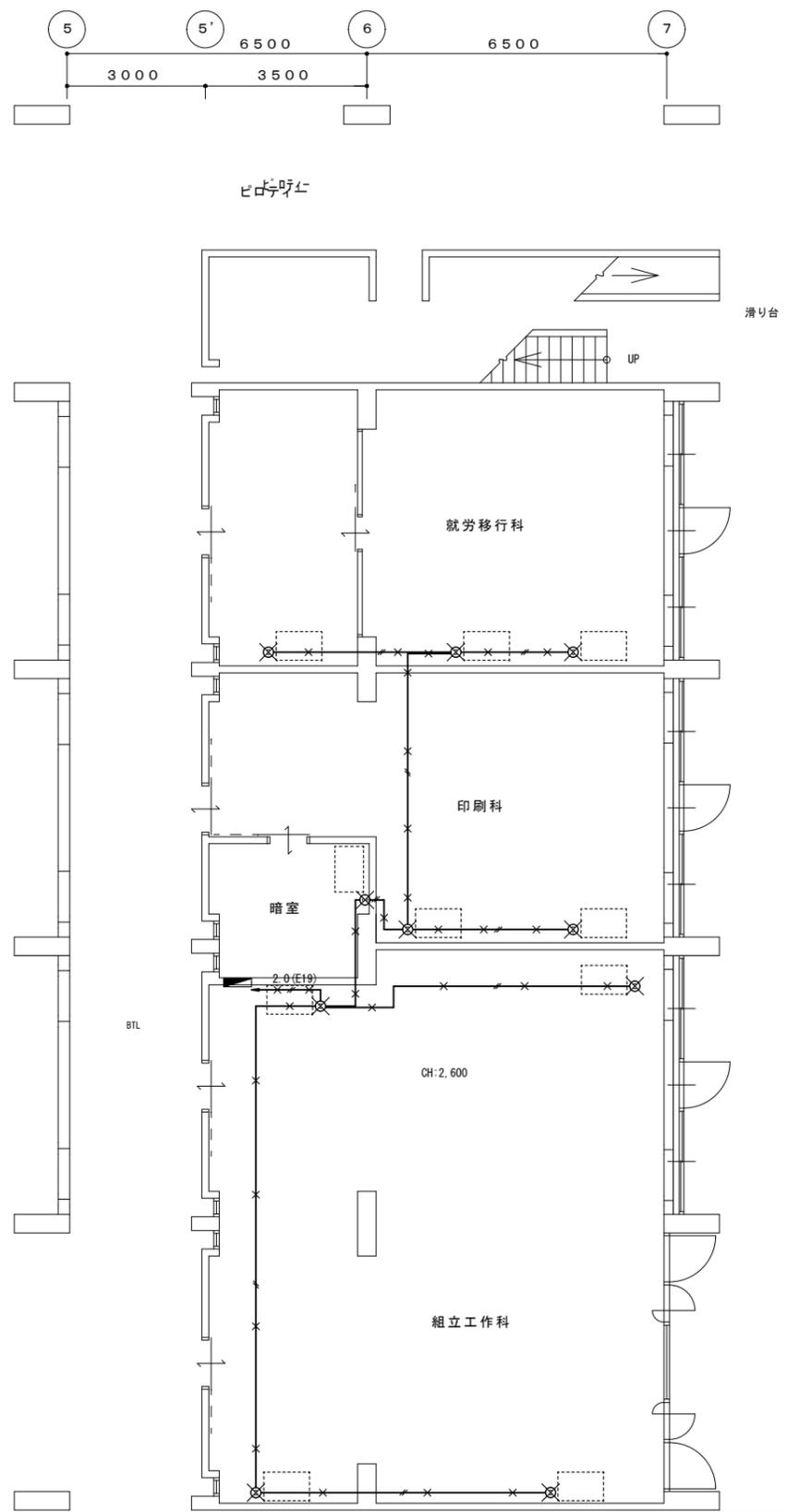
特記仕様書			
工事名称	能力開発施設冷暖房設備第1期改修工事		
工事場所	神戸市西区環町1070		
工事期間	年 月 日 ~ 年 月 日 主体工事の準ずる		
	敷地面積	m ²	延面積
	地下	階	地上
	構造	R C	鉄骨 木造
工事種目	●印を適用する。		
	○ 高圧受電 設備工事		● 本工事
	○ 低圧幹線 設備工事		
	● 動力 設備工事		●
	○ 電灯コンセント設備工事		
	○ 電話(有線) 設備工事		
	○ 情報 設備工事		
	○ 放送 設備工事		
	○ ナースコール 設備工事		
	○ 呼出表示 設備工事		
	○ 7ch共同聴視 設備工事		
	○ 電気時計 設備工事		
	○ 自動火災報知 設備工事		
	○ 誘導灯 設備工事		
	○ 非常警報 設備工事		
	○ 自動閉鎖装置 設備工事		
	○ 非常用発電機 設備工事		
	○ 避雷針 設備工事		
	○ 防災、防犯 設備工事		
	○ 屋外灯 設備工事		
	○ 太陽光発電 設備工事		
総則	●印を適用する。		
1. 適用	● 本工事は、特記仕様書・設計図 電気設備技術基準・電力会社内線規定・消防法等、建築基準法、及び、 ● 社団法人 日本建築家協会監修建築設備工事共通仕様書による。 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修電気設備工事共通仕様書(最新版) 同様準拠(最新版)による。 (盤、キュービクル等機器はメーカー標準仕様とする。)		
2. 優先順位	● 設計図書の優先順位は下記による。 (1) 現場説明書、質疑応答書 (2) 特記仕様書 (3) 設計図 (4) 共通仕様書 (5) 上記いずれも記載なき場合、不明の場合は係員指示による。		
3. 法令・条例等	● 本工事施工に先立ち事前に所轄官公庁及び関係先へ充分な打ち合わせの上、工事に着手すること。尚、これに要する申請及び手続きはその費用を含め請負者にて行うこと。		
4. 疑義	● 設計図書に疑義を生じた場合は係員と協議の上、その指示による。		
5. 軽微な変更	● 工事の施工に際し、現場の納まり又は取合上器具の取付位置・取付工法などの軽微な変更は係員の指示によって行う。この場合請負金額は増減しない。		
6. 工程、施工図	● 本工事施工に先立ち、建築、給排水等、他工事との取合いについて充分打ち合わせの上、工程表及び施工図を遅延なく作成し、係員の承認をうけた後着手する。		
7. 機器及び材料	● 工場製作による機器類及び加工材遅延なく製作図を提出し、係員の承認をうけた後製作加工に着手すること。これらの機器類及び加工材は工場検査を受けた後、現場搬入する。尚、市販品等については、見本品又はカタログ等を提出し係員の承認を受ける。		
8. 工事写真	● 工事写真はカラーサービス版とし撮影日時場所を明記の上アルバムにて提出すること。 ● 撮影箇所は地中埋設部、隠蔽部、機器据え付け施工中その他係員が指示する箇所とする。 ● 工事の施工に際して係員立ち会いのもとに、各種試験検査を行い関係諸官庁の立ち会いの検査合格を似って完了とする。		
10. 竣工時提出書類	● 本工事引渡しに際し速かに下記書類を提出する。 (1) 工事引渡書 (2) 竣工図 (3) 竣工写真 (4) 施工図(二つ折製本) (5) 申請書・検査合格書及び保証書 (6) 試運転成績表 (7) 機器完成図・試験成績表・取扱説明書を含む。部数及び形式は指示による。		
11. その他	既設電気設備撤去の際 必要残存設備への電源供給(仮設を含む)等は本工事とする 本工事は改修工事であり、設計図と現況が異なる事や、解体撤去時に、予想外の事態が発生する可能性があるが、その場合は速やかに関係者と協議を行う。 又、上記により変更が生じた場合や、納まりによる軽微な変更が生じた場合でも、請負金額の増減は行わない		

補足事項			
● 1 建築基準法・消防法等で必要なのは設計図記載なきも、請負業者の責任にて施工のこと。			
● 2 接地工事は、設計図に明記なきも本工事にて行うこと。			
一般共通事項			
1. 電線	● 特記なき電線・ケーブルは 600V 1V電線とし、色別表示を行うこと。		
2. 電線管	● 特記なき電線管は、下記を原則とする。 ● 屋外配管 ● CP (厚鋼) SUS (厚鋼) HIVE 難燃性 FEP PE ● 屋内配管 CP (薄鋼) ● EP (ねじ無し) PF管使用 可 不可		
3. 呼び線	● 長さ1m以上の空配管には、1. 2mm以上のビニール被覆燃線を入れし、行先表示を施すこと。		
4. 配線器具	特記なき配線器具・プレートは、下記を原則とする。 配線器具 大角連用型 ワイド型 プレート 新金属 ステンレス 樹脂製		
5. コンクリート	基礎及び、ハドネキ等に使用するコンクリート強度は、180kgf 以上とする。		
6. 塗装	● 露出配管には塗装を施す。(指定色OP2回塗り) 壁の塗装色 指定色 ● メーカー標準色		
7. 防火区画	● 防火区画の貫通部は、耐火処理を施すこと。		
8. 再使用	● 取り外し器具・機器で、再使用するものは、清掃・絶縁測定の上、取り付けること。		
工事区分 ○印を適用する。			
工事項目	建築工事	電気工事	機械工事
・電力引込負担金			
・太陽光全量買取引込負担金			
・電力会社・N干干柱移設・撤去負担金			
・電波障害調査費			
・電波障害対策費			
・R-C躯体貫通用-別-及び補入			
・同上施工後の鉄筋補強			
・天井埋込器具の切込下地補強			
・天井埋込器具の撤出し			
・キュービクルの基礎			
・自立鋼のコンクリート基礎			
・埋込み埋設の仮枠			
・ガス漏れ警報器			
・消火器			
・IPの1次側電気工事		○	
・IPの2次側電気工事 (P-2共)			○
・IPのP/E/F/F取付			○
・同上用電気配線工事			
・同上用電線管工事			
・給湯器用操作線及びP/E/F取付工事			
・同上用電線管工事			
・換気扇、天井扇等の取付工事			
・同上スイッチ(取付含む)の取付工事			
接地種の種類記号 接地抵抗値 接地種			
A種接地	EA	10Ω以下	銅板式(900×900×1.5t)
B種接地	EB	Ω以下	銅板式(500×500×1.5t)
D種接地	ED	100Ω以下	EB(10φ)×1(L=1500mm)
C種接地	EC	Ω以下	銅板式(500×250×1.5t)
高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組
交換機用	Et	Ω以下	EB(14φ)×3連-1組
通信用	EAt	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組
通信用	EDt	100Ω以下	EB(10φ)×1(L=1500mm)
測定用	EO		EB(10φ)×1(L=1000mm)

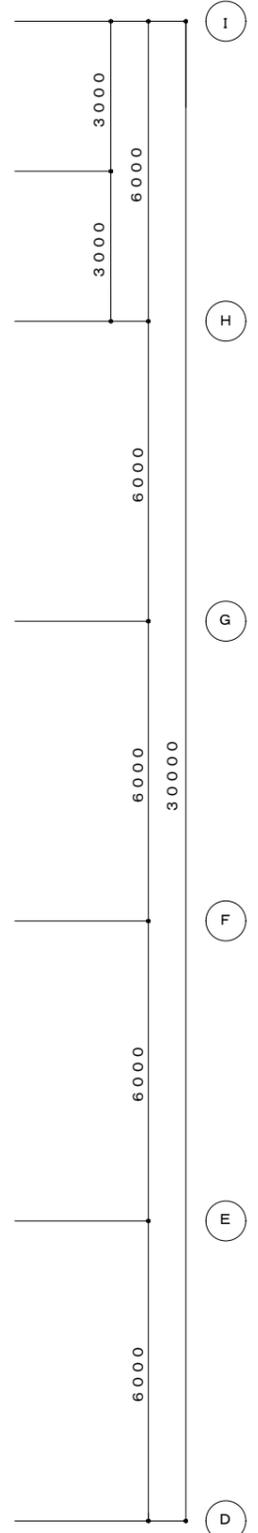
工事概要		●印を適用する。
● 動力設備工事	● 電気室既設動力低圧盤に配線用遮断機を設置し手元開閉器を経て GHP室外機に至る配管配線・機器取付工事とする	
	● 既設電灯盤ファンコイル回路用配線用遮断器を漏電遮断器(ELCB2P50AF20AT200V)に取替より 室内機電源に至る配管配線・機器取付工事とする	
	既設ファンコイル用配管配線の撤去も本工事を含む	

使用資材		○印を適用する。	
本工事に使用する機器・資材で、下記メーカー以外の使用については、変更要請書を係員に提出し、同等品と認められた場合に限り、その機器・資材を使用することができる。			
電線ケーブル	JCSマーク表示許可工場の製品		
特殊電線ケーブル	同上		
金属電線管	JISマーク表示品		
同上付属品	同上		
硬質ビニル管	同上		
同上付属品	同上		
キュービクル	河村電器 日東工業 大日 日満 内外		
配分電盤類	パナソニック 東芝 大日 日満 内外 日東工業 河村電器 テンパール工業		
配線器具	パナソニック 東芝 神保		
● 照明器具	パナソニック 東芝 三菱 岩崎 小泉		
換気扇	パナソニック 東芝 三菱 日立		
電話機	岩通 パナソニック 東芝 三菱 NEC NTT		
放送機器	パナソニック TOA 東芝 JVCケンウッド		
インターホン	パナソニック 東芝 アイホン		
ナースコール	東芝 ケアコム アイホン		
テレビ共聴機器	DX パナソニック ハ木 マスプロ		
電気時計	パナソニック セイコー TICシチズン		
自動火災報知器	ホーチキ 能美 パナソニック ニッタン		
自動閉鎖装置	同上		
非常警報	同上		
● 自家発電機	ヤンマーディーゼル		
避雷針	日本 大阪 四興 大省		
高圧気中開閉器	戸上 大垣 三菱 高松		
トランス	東芝 三菱 日立 ダイヘン		
コンデンサー	東芝 指月 日本コンデンサー		
セキュリティ	パナソニック 東芝 アイホン		
電気錠	日本電子工業株式会社 美和ロック㈱ アート(株) (株)ゴール		
太陽光発電	パナソニック 京セラ シャープ 東芝 三菱		
111 機器取付高さ			
機器の取付高さは図示のほか下記を標準とする。			
電力共通	名 称	測 定	取 付 高(mm)
電	取 引 用 計 器	地上 ~ 窓中心	1,800~2,000
	引 込 開 閉 器	床 上 ~ 中 心	1,800
	分 配 盤	床 上 ~ 中 心	1,500(上層1,900以下)
	ス ン ド	〃	1,300
	コ ン セ ン ト (一 般)	〃	300
	〃 (和 室)	〃	200
	〃 (仕 庫)	台 上 ~ 中 心	600~1,300
	ブ ラ ケ ッ ト (一 般)	床 上 ~ 中 心	2,100~2,500
	〃 (備 置)	〃	2,500
	〃 (備 上)	備 上 端 ~ 中 心	150
灯	壁 掛 形 制 御 盤	床 上 ~ 中 心	1,500(上層1,900以下)
	開 閉 器 窓 操 作 ス イ ッ チ	〃	1,300
電 話	端 子 盤	床 上 ~ 下 端	500
	保 安 器 箱	床 上 ~ 中 心	2,000
	壁 付 位 置 ボ ッ ク ス (和 室)	〃	300
時 計 ・ 報 警	壁 掛 形 報 時 計	床 上 ~ 中 心	1,500(上層1,900以下)
	子 時 計	〃	2,300
	壁 掛 形 ス ピ ー カ ー ア ッ チ テ ー マ ー	〃	2,300
表 示	表 示 盤	〃	2,300
	壁 付 報 警 機	〃	1,300
	パ ー ル ・ フ ァ ー ・ チ ェ イ ン 壁 付 ボ タ ン	〃	2,300
イ ン タ ー ホ ン	壁 付 イ ン タ ー ホ ン	床 上 ~ 中 心	1,300
	壁 付 位 置 ボ ッ ク ス (和 室)	〃	1,300
	〃	〃	200
テ レ ビ 共 同 受 信	分 配 器 箱	床 上 ~ 上 端	1,900
	テ レ ビ ア ウ ド レ ッ ト	床 上 ~ 中 心	300
	〃 (和 室)	床 上 ~ 中 心	200
火 災 報 知	収 容 箱	床 上 ~ 上 端	1,900
	受 信 機 ・ 制 受 信 機	床 上 ~ 中 心	1,500
	給 電 機	〃	1,300
電	給 電 機	〃	1,300
	給 電 機	〃	2,300
IV 図 示 記 号			
特記なき図示記号は、国土交通大臣官庁官庁営繕部監修「電気設備工事標準図」最新版による。			

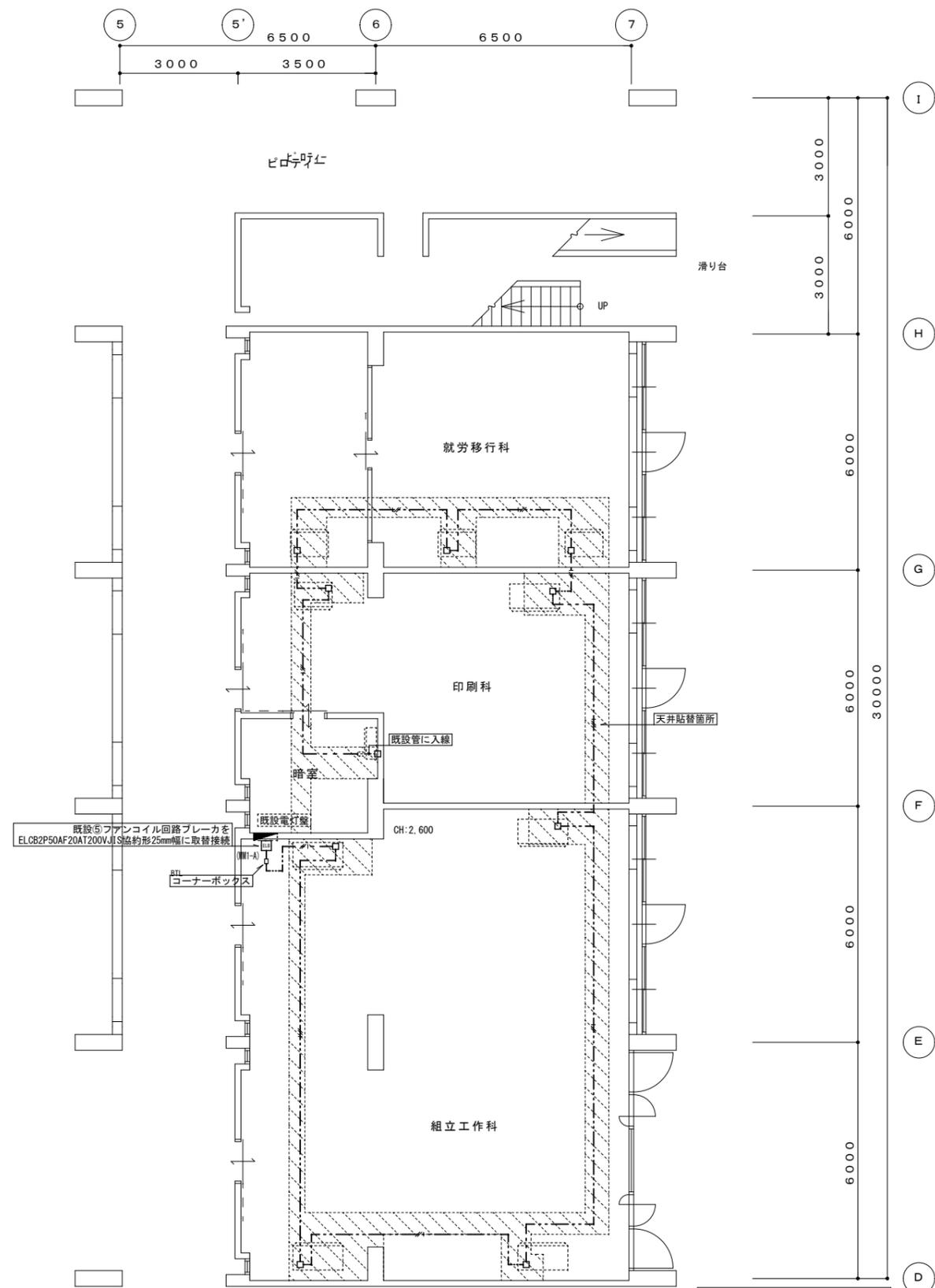
特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター	No.
		6年11月 日	年 月 日		あけぼのの空空調改修工事設計図	
				図名	電気設備工事特記仕様書	E 1
				縮尺		
	 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大日 登録 第243356号			検 図		



1階平面図 (改修前撤去図) 1/100
 特記なき配管配線は下記による
 ⅠV1.6×2(E19)
 図中×印は 撤去を示す



評価作業棟



1階平面図 (改修後) 1/100
 特記なき配管配線は下記による
 EM-EFP2.0-3C(10-E) (コトナ)

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	No. E / 2
		6年11月 日	年 月 日	あけほのの家空調改修工事設計図	
				室内ユニット電源設備	
				1階平面図	
				縮尺 1/100	整理番号


嶋本一級建築士事務所
 一級建築士 嶋本 浩史
 一級建築士 大臣登録 第243356号

名称	県立総合リハビリテーションセンター
図名	あけほのの家空調改修工事設計図
縮尺	1/100

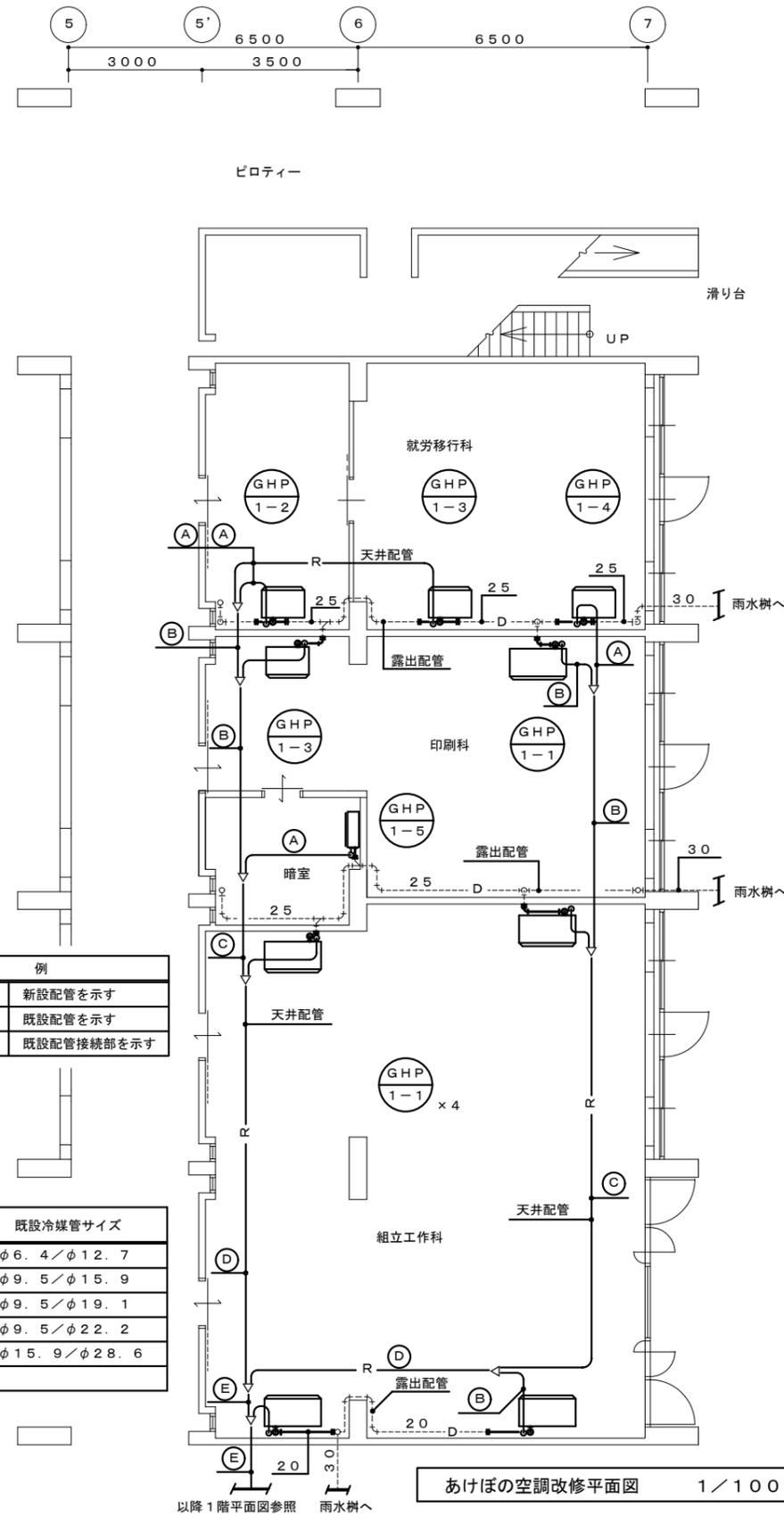
特記仕様書 (衛生・空調設備工事)									
1. 建築概要	工事名称	県立総合リハビリテーションセンター 能力開発施設冷暖房設備改修工事第1期							
	工事場所	神戸市西区曙町1070							
	建築用途	主用途	他用途						
	建築面積	延べ床面積	544.71㎡						
	階数	地下	地上 3階建て						
	構造種別	○S造	○SRC造	●RC造		○木造			
法定構造	○木造	○準耐火	○耐火	内装制限	○有り	○無し			
2. 一般事項 ●印を適用する	1 本工事は、特記仕様書、本設計図並びに、各関係諸規則、●国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」最新版及び「公共建築設備工事標準図」最新版 ○新日本建築協会「建築設備共通仕様書」最新版に基づき、完全に施工完成の事。								
	2 本工事に要する諸官庁等の申請手続きは請負者が代行し、その費用一切も請負者の負担とする。								
	3 図面上の明記なき事項に關しても本工事に当然必要と思われる工事は係員の指示に従い施工完成の事。								
	4 本工事に於いて疑義が生じた場合は、速やかに係員と協議の上、その指示に従う事。								
	5 本工事に於ける軽微なる変更の処置については、本工事請負金額内にてこれを行い、金額の変更は行わないものとする。								
	6 各設備工事は全て仕様書、設計図に示された機能を完全に発揮されるよう施工する事。								
	7 本工事に使用する機器、材料等は速やかにメーカーリストの申請願いを提出し、係員の承認を受ける事。								
	8 工事引渡の際、実際の施工を基準とした竣工図、施工中写真等を製本して、指定部数提出の事。 尚、取り扱い説明書、各試験成績表、測定表及び官公庁その他の許認可書類も合わせて提出の事。 指定部数については、建築工事に合わせる事。								
3. 工事種目 ●印を適用する	A 衛生設備工事 ○給水設備工事 ○排水通気設備工事 ○給湯設備工事 ○衛生器具設備工事 ●ガス設備工事 (●都市ガス ○LPガス) ○消火設備工事 ○浄化槽設備工事 ○ろ過設備工事								
	B 空調設備工事 ●空調機器設備工事 ●空調配管設備工事 ○空調ダクト設備工事 ●計装設備工事 ○換気機器設備工事 ○換気ダクト設備工事								
4. 使用管材 ○保温の内容は共通仕様書による。 ○冷媒管の屋外露出部は下記の仕上げとする。(SUSラッキング)	屋内		屋外		管 材 名		記 号 備 考		
	一般	堅管	地中	一般	堅管	地中			
							① 耐衝撃性塩化ビニール管	HIVP	JIS K 6742
							② 硬質塩化ビニール管 (水道管)	VWP	JIS K 6742
							③ 硬質塩化ビニール管 (一般管)	VP	JIS K 6741
							④ 硬質塩化ビニール管 (薄肉管)	VU	JIS K 6741
							⑤ 硬質塩化ビニール管 (カラー一般管)	VP	JIS K 6741
						⑬	⑥ 耐火二層管	FDP	HASS 206
							⑦ 耐熱塩化ビニール管	HTVP	JIS K 6776
		⑮	⑮		⑮	⑮	⑧ 塩ビライニング鋼管 (管端コア付き)	K-VA	WSP 057
		③	③				⑨ 塩ビライニング鋼管 (外面被覆)	SGP-VS	WSP 041
							⑩ ポリエチレン被覆鋼管	PLP	JIS G 3469
							⑪ 配管用炭素鋼鋼管 (白)	SGP	JIS G 3452
							⑫ 配管用炭素鋼鋼管 (黒)	SGP	JIS G 3452
							⑬ 緩目無脱酸鋼管 (M)	CUP	JIS H 3300
							⑭ 保温付被覆鋼管 (M)	CUP	JIS H 3300
							⑮ 空調用被覆鋼管	CUP	JIS H 3300
							⑯ 大阪ガス仕様		
							⑰ 亜鉛鍍鋼板		
							⑱ スパイラルダクト	SPD	
							⑲ アルミフレキダクト		
							⑳ ストップバルブ (ジスク)	SV	JIS B 2011
			㉕			㉕	㉑ ゲートバルブ (JIS 5K)	GV	JIS B 2011 (2031)
							㉒ ゲートバルブ (JIS 10K)	GV	JIS B 2011 (2031)
							㉓ バタフライバルブ (JIS 10K)	BFV	(65φ以上ナイロンコーティング) JIS B 2032
							㉔ ボールバルブ (JIS 10K)	BV	JV5-1 (2)
							㉕ ポリスチレンフォーム保温材		JIS A 9511
						㉖ グラスウール保温材		JIS A 9504	
						㉗ ロックウール保温材		JIS A 9504	
・給水・給湯バルブは脱亜鉛並びにコア内蔵仕様とする。 (直圧系統は水道局指定品仕様とする。)									
5. 工事種目 ●印を適用する。	●給水設備工事 給水方式 ○直圧方式 ○高架水槽 ○加圧ポンプ ○既設管接続 水源 ○公共水道 ○井水 ○簡易水道 受水槽 ○本工事 (○FRP製 ○単板 ○複合板) (○SUS製 ○単板 ○複合板) (○鋼板製 ○単板 ○複合板) ○建築工事 ○既設品使用 高架水槽 ○本工事 (○FRP製 ○単板 ○複合板) (○SUS製 ○単板 ○複合板) (○鋼板製 ○単板 ○複合板) ○建築工事 ○既設品使用								
	●給湯設備工事 給湯方式 ○個別 ○中央 ○既設管接続 熱源 ○電気 ○ガス ○油 (○灯油 ○A重油)								
	●排水通気設備工事 排水方式 汚水・排水 屋内 (○合流 ○分流) 屋外 (○合流 ○分流) 雨水 屋外 (○合流 ○分流) 放流先 ○公共下水道 ○側溝・水路 ○河川 ○既設溝 ○既設管 通気方式 ○伸長通気 ○回路通気 ○迷がし通気 樹仕様 ○既製品 (○RC製 ○樹脂製) ○現場打 ○下水道課指定								
	●衛生器具設備工事 図示位置に (○AYボルト ○木ネジ) にて、堅固に体裁よく取付ける。 尚、タイル目地は、接続に支障なき限り合わせる事。 陶器色 ○スタンダード色 ○特注色 図示品番は、便宜上東陶機器、ダイドレの参考品番とする。								
	●ガス設備工事 口径表示は有るも工事積算に際し大阪ガスの検討を有すること。 ●都市ガス 種別 11000Kcal/m3 「大阪ガス責任施工」 ○LPガス 種別 24000Kcal/m3 集合装置 (自動切換) 「50kgボンベ 本立」 ○既設管接続 集合装置 ○メーター (○買取 ○別途供給者負担) (1次側配管共)								
	●消火設備工事 ○屋内消火栓 ○屋外消火栓 ○連結送水管 ○スプリンクラー ○粉末消火器 消火水槽 「 m3」 ○本工事 (○鋼板製 ○FRP製) ○建築工事 配管方式 ○湿式 ○乾式								
	●浄化槽設備工事 方式 単独処理 (○分離バッキ ○分離接触バッキ) ○合併処理 処理人員 ○○○人 「JIS A 3302-69に依る。」 処理水 m3/日 BOD PPM SS / 以下 躯体安全加重 ○標準仕様 (5KN) ○中耐仕様 (15KN)								
	●空調設備工事 方式 ○個別 ●マルチ 熱源 ○空冷ヒートポンプ ●ガスヒートポンプ ○空冷 ○氷蓄熱 工事 ●機器 ●配管 ○ダクト 既設利用 ○機器 ○配管 ○ダクト (注) 既設配管撤去後のスリーブは再使用とする。								
	●換気設備工事 方式 ○個別 ○中央 第 (○1種 ○2種 ○3種) 換気 工事 ○機器 ○ダクト 既設利用 ○機器 ○ダクト								
	6. 工事区分 ●印を適用する。								
1	梁、壁、床の貫通スリーブ								
2	スリーブ、開口部廻りの補強	●							
3	特殊仕上げ材の穴明け及び地下補強	●							
4	天井穴明け及び地下補強	●							
5	最上階の貫通立上げ雨仕舞								
6	設備機器の基礎及び仕上げ	●							
7	各水槽の架台								
8	各水槽の基礎								
9	浴槽、シャワーユニット								
10	洗面化粧台、手洗ユニット、洗面カウンター								
11	洗濯機パン								
12	システムキッチン、ミニキッチン、流し台、ガス台								
13	天井、床、パオプシャフト等の点検口								
14	外壁面取付ガラリ								
15	ルーフトレン及び雨水立樋								
16	雨水横引配管								
17	各水槽の満減水警報装置								
18	設備機器の制御盤及び2次側配線							●	
19	設備機器用リモコン及び配線							●	
20	設備機器用リモコン配管							●	
21	エアコン室内・外機器用連絡配線 (アース線共)							●	
22	給水引込工事								
23	下水本管接続工事 (下水道局工事公共樹まで)								
24	水道引込負担金								
25	下水放流負担金								
26									
7. 特記事項									
1. 本工事は改修工事のため、施工前に十分調査の上着工する事。									
2. 建築、電気設備工事と十分打ち合わせを行い、施工する事。									
3. 工事に於いて、疑義が生じた場合は速やかに監督員に報告し、指示を受けること。									
4. 室外機一室内機 渡り配線は冷媒管に巻き込むものとする。									
8. 凡例									
種 別	記 号	種 別	記 号						
給水管		ドレン管	— D —						
汚水管		ろ過管 (往)							
排水管		ろ過管 (復)							
通気管		ストレーナー	— S —						
冷温水管 (往)	— HS —	仕切弁	— X —						
冷温水管 (復)	— HR —	逆止弁	— Z —						
消火管		量水器	— M —						
ガス管	— G —	水 (湯) 栓	— W —						
冷媒管	— R —	床上掃除口	— C —						
膨張管		排水金物	— D —						
		汚水樹	— S —						
		雑排水樹	— Z —						
9. メーカーリスト									
冷暖房機器	アイシン	ヤンマー	パナソニック						
特記事項									
設計 設計年月日 訂正年月日									
6年 11月 日 年 月 日									
名称 県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図									
図名 特記仕様書 (機械設備工事)									
縮尺									
No. M / 1									
AS 嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 検 一級建築士 大臣登録 第243356号 図									

新設機器表

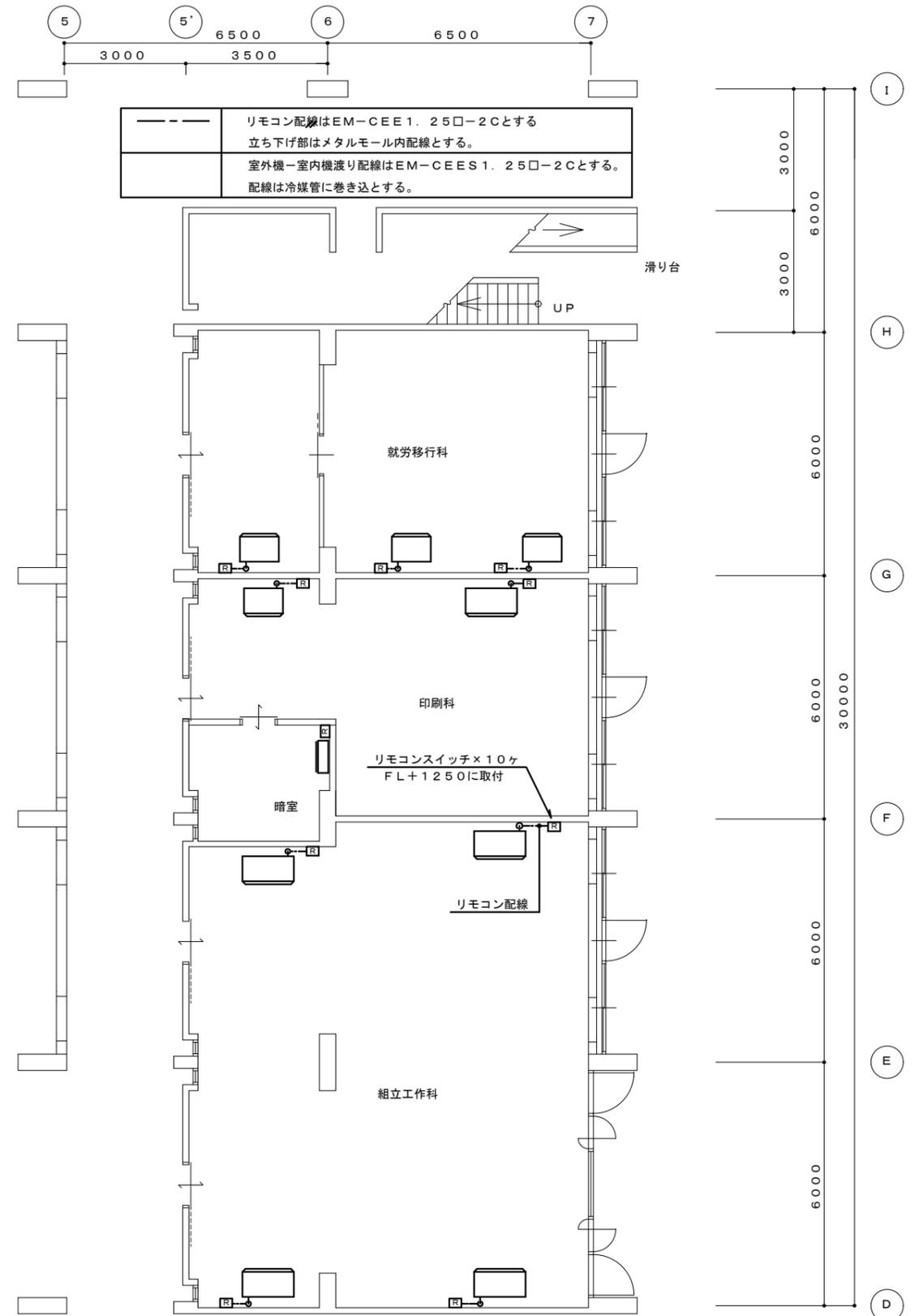
記号	名称	仕様	数量	備考
GHP 1	ガスヒートポンプエアコン (室外機)	20馬力相当	1	(参考品番アイシン AWGP560G1ZD)
		冷房能力 56.0kw 暖房能力 63.0kw		
		エンジン出力 12.4kw 送風機 0.36+0.42kw		
		消費電力 0.998kw 3φ 200V		
		ガス消費量 49.4kw 13A OS防振架台		
	耐塩害仕様 他附属品共			
GHP 1-1	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	天井吊形	5	(参考品番アイシン AXHP71NA)
		冷房能力 7.1kw 暖房能力 8.0kw		
		送風機 0.091kw 消費電力 0.112kw		
		1φ 200V ワイヤードリモコン		
	エアフィルター 他附属品共			印刷科室・縫製科室
GHP 1-2	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	天井吊形	1	(参考品番アイシン AXHP56NA)
		冷房能力 5.6kw 暖房能力 6.3kw		
		送風機 0.06kw 消費電力 0.109kw		
		1φ 200V ワイヤードリモコン		
	エアフィルター 他附属品共			金属工芸科室
GHP 1-3	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	天井吊形	2	(参考品番アイシン AXHP45NA)
		冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.0kw		
		送風機 0.06kw 消費電力 0.107kw		
		1φ 200V ワイヤードリモコン		
	エアフィルター 他附属品共			金属工芸科室・印刷科室
GHP 1-4	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	天井吊形	1	(参考品番アイシン AXHP36NA)
		冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.0kw		
		送風機 0.06kw 消費電力 0.107kw		
		1φ 200V ワイヤードリモコン		
	エアフィルター 他附属品共			デザイン科室
GHP 1-5	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	壁掛形	1	(参考品番アイシン AXAP28EB)
		冷房能力 2.8kw 暖房能力 3.2kw		
		送風機 0.03kw 消費電力 0.034kw		
		1φ 200V ワイヤードリモコン		
	ドレンUP機能 他附属品共			暗室

撤去機器表

記号	名称	仕様	数量	備考
FC 1	ファンコイルユニット	天井吊露出型	5	デザイン科室・縫製科室
		放熱量 3650kcal/h		
		40W 1φ 100V		
		コントローラー 他附属品共		
FC 2	ファンコイルユニット	天井吊露出型	4	金属工芸科室・印刷科室
		放熱量 2810kcal/h		
		35W 1φ 100V		
		コントローラー 他附属品共		
AC 1	ヒートポンプエアコン	壁掛形	1	暗室
		冷房能力 2.2kw 暖房能力 2.5kw		
		圧縮機 600w 消費電力 440w		
		1φ 100V リモコン 室外機		
	他附属品共			R32冷媒 0.47kg回収・破壊処理含む。



あけぼの空調改修平面図 1/100



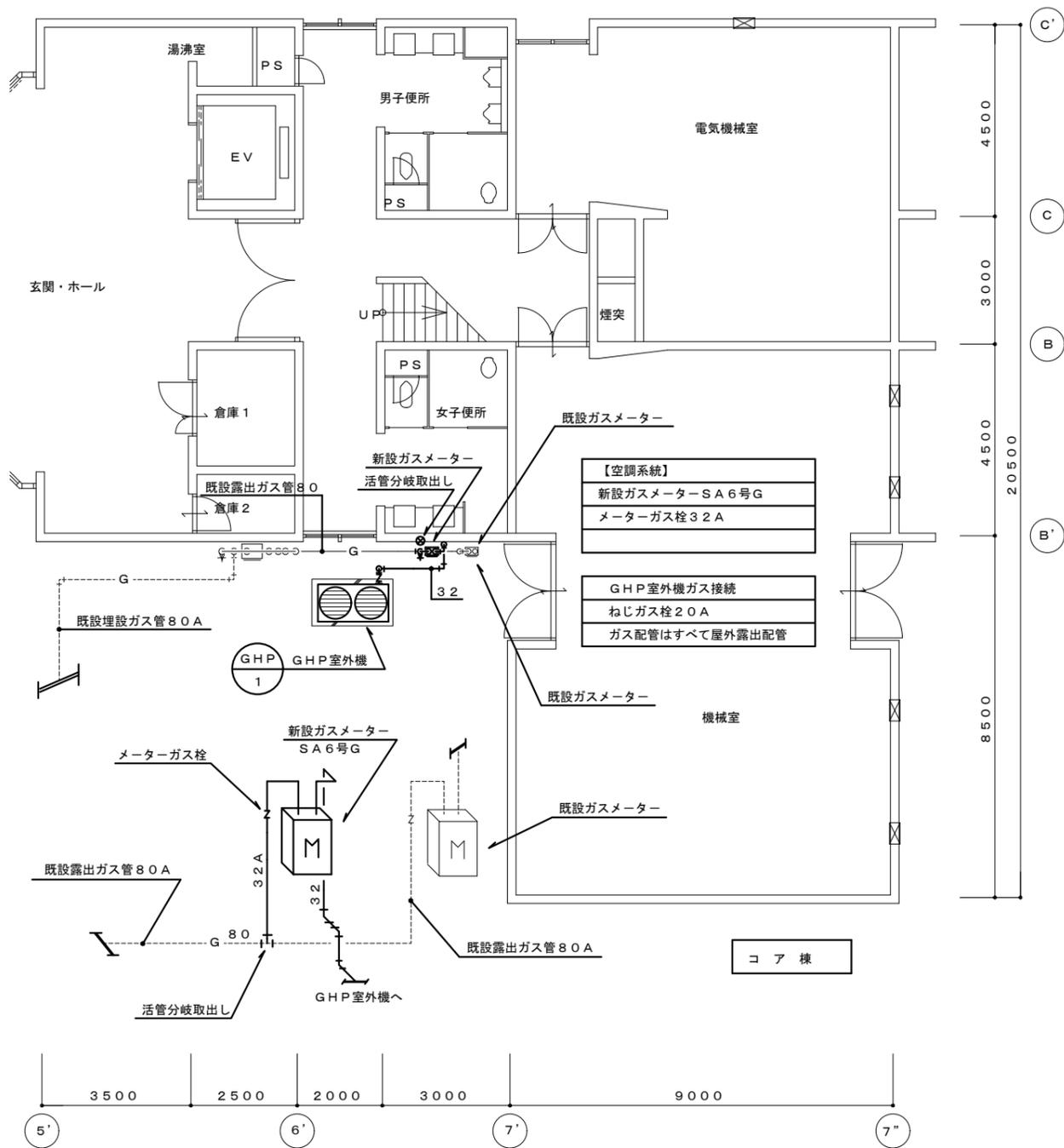
あけぼの空調計装改修平面図 1/100

凡 例

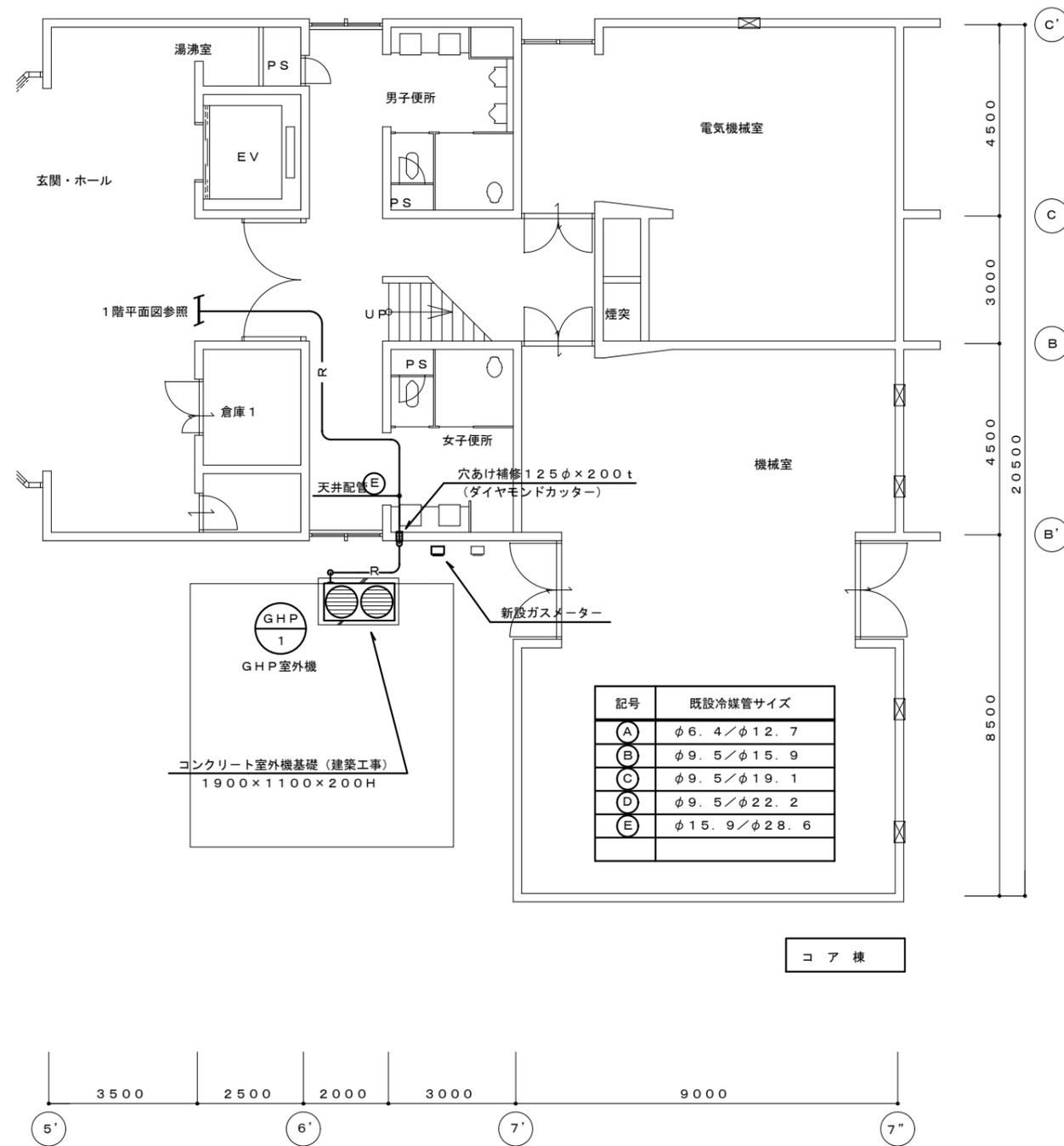
	新設配管を示す
	既設配管を示す
	既設配管接続部を示す

記号	既設冷媒管サイズ
(A)	φ6.4 / φ12.7
(B)	φ9.5 / φ15.9
(C)	φ9.5 / φ19.1
(D)	φ9.5 / φ22.2
(E)	φ15.9 / φ28.6

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター	No. M
		6年 11月 日	年 月 日		あけぼのの家空調改修工事設計図	
	AS 嶋本一級建築士事務所	一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号	検 図	図名	あけぼの空調改修平面図	4
				縮尺	1/100	



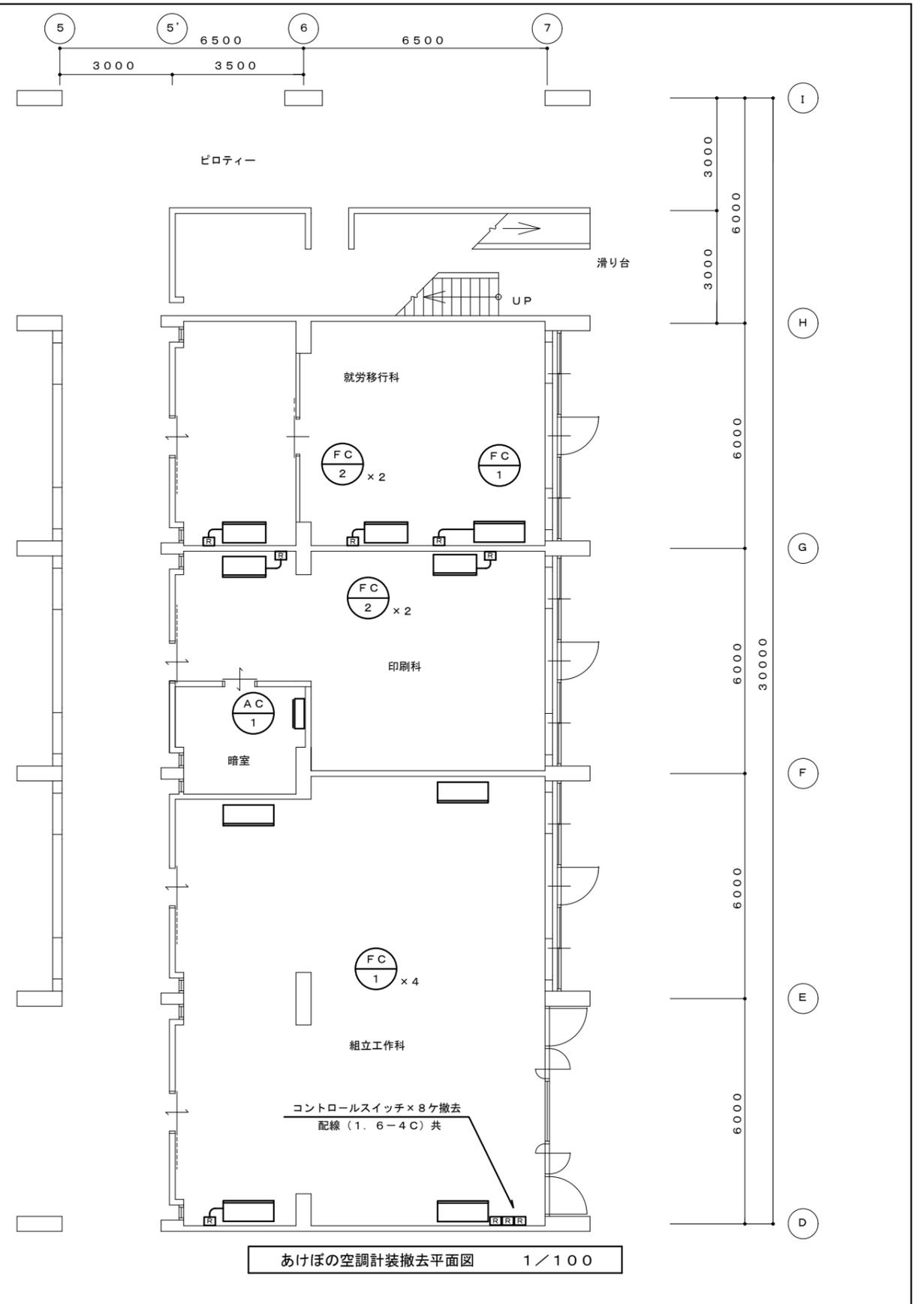
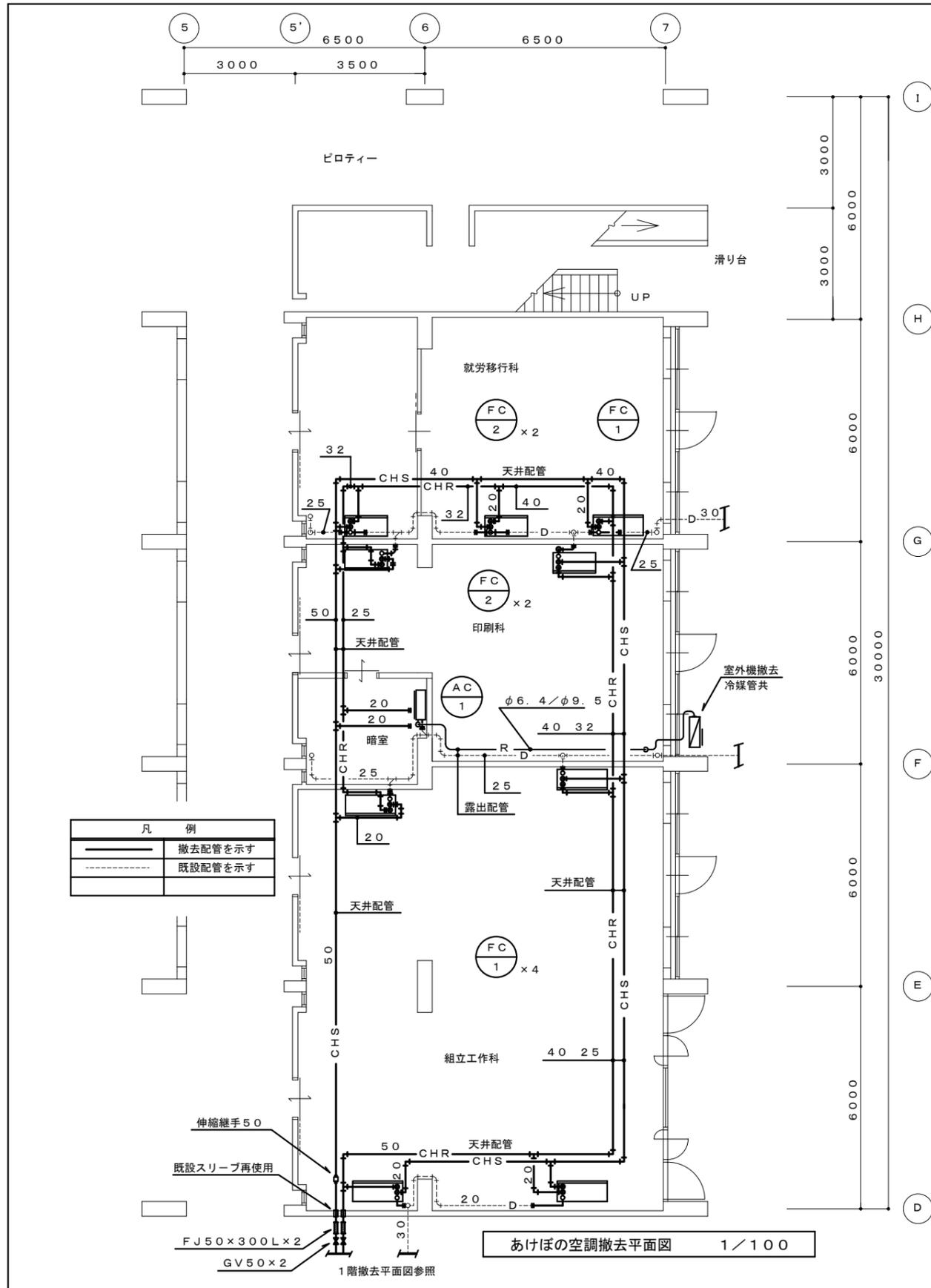
室外機廻りガス配管平面図 1/100



室外機廻り冷媒管平面図 1/100

記号	既設冷媒管サイズ
(A)	φ6.4 / φ12.7
(B)	φ9.5 / φ15.9
(C)	φ9.5 / φ19.1
(D)	φ9.5 / φ22.2
(E)	φ15.9 / φ28.6

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	No.
		6年 11月 日	年 月 日		
				図名	
				縮尺	1/100
	嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号			検図	



特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	No. M 7
		6年 11月 日	年 月 日	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図 あけぼの空調撤去平面図	
	AS 嶋本一級建築士事務所	一級建築士 嶋本 浩史	検	図名	
		一級建築士 大臣登録 第243356号	図	縮尺	1/100